

事業者排出量削減報告書

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府南丹市園部町千妻マカリ1-1						
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	株式会社 湖池屋 代表取締役社長 田子 忠						
事業者の主たる業種	菓子製造業						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者(大規模エネルギー使用事業者(原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者(大規模運送事業者(トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者(その他の温室効果ガスの大規模排出事業者(二酸化炭素に換算して3,000トン以上))						
計画期間	平成20年 4月 ~平成23年 3月						
基本方針	工場内のエネルギー使用量を把握し、ハード、ソフト両面から生産効率向上を図る。						
推進体制	工場全体のコストダウン計画の中に省エネ、CO2削減の項目を織り込み進めて行く。						
	環境マネジメントシステム名称						
	適用範囲						
	取得年月日						
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容				
	20年度	エアコン	旧型のエアコンを高効率エアコンに更新し電力削減を図る。				
	21年度	コンプレッサー	設定圧の見直し、エアーの使い方、エアー漏れ削減で稼働台数を抑える。				
	22年度	燃料	燃焼設備の保温を強化し燃焼効率アップを図る。				
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度(実績) (20)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)	
	A 事業所等排出区分	9,046.0 t	8,601.0 t	-4.9 %	8,949.3 t	-1.1 %	
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%	
	C その他排出区分	t	t	%	t	%	
	排出合計	*1 9,046.0 t	*2 8,601.0 t	-4.9 %	*4 8,949.3 t	-1.1 %	
	実績に対する自己評価	CO2削減-4.9%目標で省エネ活動を実施した中で20年度は-1.1%を達成することができた。今後も燃焼設備、空気圧縮設備を重点に省エネ活動を継続していく。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)
	京都工場	二酸化炭素換算 生産高 t	0.862 t-CO2/t	0.820 t-CO2/t	-4.9 %	0.790 t-CO2/t	-8.4 %
		二酸化炭素換算			%		%
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	生産量が前年より増加する中で、ライン空転時間の削減や燃焼設備での調整でエネルギー消費を抑えることができた。今後も生産計画を効率よく行い、省エネ活動を継続していきたい。					
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)			報告年度(実績)		
		取組量等	(二酸化炭素換算)		取組量等	(二酸化炭素換算)	
	森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t		(整備面積) ha	(吸収量) t	
	府内産の木材の利用	(利用量) m ³	(削減量) t		(利用量) m ³	(削減量) t	
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量) kwh	(削減量) t		(発電量) kwh	(削減量) t	
		(熱供給量) GJ	(削減量) t		(熱供給量) GJ	(削減量) t	
	グリーン電力の購入	(購入量) kwh	(削減量) t		(購入量) kwh	(削減量) t	
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(購入量) t	(削減量) t		(購入量) t	(削減量) t	
	削減量等合計		*3 t		*5 t		
差引排出量 (排出合計-削減等合計)		基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)	報告年度(実績)	増減率(実績)	
		1 9,046.0 t	()2-(*)3 8,601.0 t	-4.9 %	(*)4-(*)5 8,949.3 t	-1.1 %	
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	地球緑化センターを通じCO2削減対象商品にて、購入1袋につき国連発行のCO2削減枠を10g購入し家庭部門でのCO2削減活動に寄与している。						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「特記事項」には、平成2年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。